

500mL

外用殺菌消毒剤

劇 **ヨードチンキ「マルイシ」**  
Iodine Tincture [Maruishi]

日本薬局方  
劇 **ヨードチンキ**

**うすめて使用**

製造販売元

Ⓔ **丸石製薬株式会社**

大阪市鶴見区今津中2-4-2

劇 **ヨードチンキ「マルイシ」**

500mL

劇薬

2014年9月改訂(第2版)	
日本標準商品分類番号	872612
承認番号	16100AMZ01026
薬価収載	1955年9月
販売開始	1955年9月
再評価結果	1983年4月

貯法：室温保存

使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

注意：〈配合変化〉マーキュロクロム液とは沈殿を生じる。

● **禁忌**(次の患者には使用しないこと)  
ヨード過敏症の患者

● **組成・性状**

1. 組成

100mL中 ヨウ素 6g  
及び添加物としてヨウ化カリウム、エタノール 含有。

2. 性状

暗赤褐色の液で、特異なにおいがある。  
比重  $d_{20}^{20}$ ：約0.97● **効能・効果**皮膚表面の一般消毒、創傷・潰瘍の殺菌・消毒、歯肉及び  
口腔粘膜の消毒、根管の消毒● **用法・用量**

5～10倍に希釈し、1日2～3回患部及び皮膚に適量塗布する。

● **使用上の注意**

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる  
調査を実施していない。

	頻度不明	0.1%未満
過敏症 <sup>注)</sup>		ヨード疹等
皮膚 <sup>注)</sup>	刺激症状	

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード(PBI)及び甲状腺放射性ヨード  
摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

3. 適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用し、内服しないこと。

使用時：

- (1)眼に入らないよう注意すること。入った場合には水  
でよく洗い流すこと。
- (2)粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用  
しないこと。
- (3)深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用  
蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用い  
ないこと。
- (4)同一部位に反復使用した場合には、表皮の剥離を  
伴う急性の皮膚炎を起こすことがあるので注意する  
こと。
- (5)口腔内に使用するとき、患部を乾燥させて塗布  
すること。
- (6)本剤は引火性、爆発性があるため、火気には十分  
注意すること。

製造番号

使用期限

火気厳禁

第二石油類  
水溶性  
危険等級Ⅲ

キャップ：PP

ガラス：瓶

〈調剤包装単位用〉  
C01)04987211263119

〈販売包装単位用〉  
C01)14987211163119

500mL

外用殺菌消毒剤

劇 **ヨードチンキ「マルイシ」**  
Iodine Tincture「Maruishi」

日本薬局方  
劇 **ヨードチンキ**

**うすめて使用**

製造販売元

Ⓔ **丸石製薬株式会社**

大阪市鶴見区今津中2-4-2

劇 **ヨードチンキ「マルイシ」**

500mL

劇薬

2009年6月作成(第1版)	
日本標準商品分類番号	872612
承認番号	16100AMZO1026
薬価収載	1955年9月
販売開始	1955年9月
再評価結果	1983年4月

貯 法：室温保存

使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

注 意：〈配合変化〉マーキュロクロム液とは沈殿を生じる。

●**禁忌**(次の患者には使用しないこと)  
ヨード過敏症の患者

●**組成・性状**

1.組成

100mL中 ヨウ素 6g  
及び添加物としてヨウ化カリウム、エタノール 含有。

2.性状

暗赤褐色の液で、特異なおいがある。  
比重  $d_{20}^{20}$ ：約0.97

●**効能・効果**

皮膚表面の一般消毒、創傷・潰瘍の殺菌・消毒、歯肉及び  
口腔粘膜の消毒、根管の消毒

●**用法・用量**

5～10倍に希釈し、1日2～3回患部及び皮膚に適量塗布する。

●**使用上の注意**

1.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる  
調査を実施していない。

	頻度不明	0.1%未満
過敏症 <sup>注)</sup>		ヨード疹等
皮膚 <sup>注)</sup>	刺激症状	

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

2.臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード(PBI)及び甲状腺放射性ヨード  
摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

3.適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用し、内服しないこと。

使用時：

- (1)眼に入らないよう注意すること。入った場合には水  
でよく洗い流すこと。
- (2)粘膜、創傷面または炎症部位に長期間または広範囲  
に使用しないこと。
- (3)深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用  
蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用い  
ないこと。
- (4)同一部位に反復使用した場合には、表皮の剥離を  
伴う急性の皮膚炎を起こすことがあるので注意す  
ること。
- (5)口腔内に使用するときは、患部を乾燥させて塗布  
すること。
- (6)本剤は引火性、爆発性があるため、火気には十分  
注意すること。

製造番号

使用期限

火気厳禁

第二石油類  
水溶性  
危険等級Ⅲ



キャップ：PP

ガラス：瓶

GS1-RSS



(01)14987211163119

JAN



4 987211 163112